

最後に紹介するのは、ボールつながり「回転チェックボールJ号」。ナイトボールとは違い、こちらは半分ずつ、白と青に分かれたボールの中心に、蛍光ピンクに近い赤のラインがぐるりと通る、トリコロールのボールだ。

青色は前出のナイトボール同様、ボールのゴム素材自体に塗料を練り込むことで着色。赤のラインは完成後の塗装だが、ゴム系塗料の使用により、こちらも持ったときの違和感はなく、グラブへの色移りの心配もない。

意識してキャッチボールを!

ボール回転

③真っすぐな回転なら赤線はぶれない①人さし指と中指の中心を赤線が通るように握れば、正しいフォームの握りだ



回転チェックボールJ号

赤のラインは、ボールをいわゆる「フォーム」で見たときの中心線となっており、このラインが人さし指と中指の間に来るように握れば、正しいフォームの握りとなる。真っすぐに、きれいなスピンの投げたボールは、赤のラインがぶれることもできる。

ることなく飛ぶ。普段、何げなくしてしまいがちなキャッチボールも、ボールの回転を意識することで、その質はかなり上がるはずだ。

正しいフォーム

これが基本的な使い方となるが、ボールの回転以前に、普段からフォームの握りで投げることは、野手にとつても基本。チェックボールを使うことで、「握り」の意識付けにもなる。また、フォームで投げればボールの「ブレ」が確認できるが、ツーシームで投げると投げたボールの縦スピンの様子を確認することもできる。

正しいフォームで、腕が触れているか。指をしつかりとかけ、ボールにスピンをかけられているか。単純ながら、使い次第で、キャッチボールもより奥深い練習になるはずだ。

大きさ、重さはJ号球の規格だ

- 回転チェックボールJ号 FNB-681JK
- ◇サイズ・重さ 直径約69mm・約129g (J号球規格)
- ◇材質 天然ゴム
- 価格 500円 (税抜き)